

森林部門技術士会概要

1 沿革

(1) 林業土木部門技術士会の発足（昭和44年（1969年））

昭和44年3月12日に林業部門の中で治山、林道を選択した技術士試験合格者の有志19名（当時治山、林道は「林業」の中に含まれていた）が発起人となって林業土木部門技術士会が発足し会員48名でスタートし、会長に水利科学研究所理事長武藤博忠氏が就任した。この時にフォレストコンサル創刊号が発行された。

(2) 林業部門技術士会の誕生（昭和46年（1971年））

昭和46年6月11日に林業土木部門技術士会を発展的に解消し林業部門全体を包括する林業部門技術士会が誕生した。これをもって、森林部門技術士会の前身としている。初代会長は林業土木コンサルタンツ理事長小幡弘之氏が就任した。また、昭和51年に（社）日本技術士会の部会に林業部会が設置された。

(3) 森林部門技術士会に名称変更（平成16年（2003年）4月1日）

（社）日本技術士会は平成15年に「林業部会」を「森林部会」と改称した。これに伴い、林業部門技術士会を森林部門技術士会（平成16年4月1日）に名称変更を行った。

2 活動

主な活動は次の通りです。

(1) 日本技術士会との連携強化

（公益社）日本技術士協会の活動に積極的に参画し、森林部門技術士会の意見・要望が反映されるよう努めるとともに（公社）日本技術士協会への加入促進

(2) 研究例会の開催

会員の資質向上、継続教育を目的として、各部会が主催して研究例会を開催

(3) 会員相互の連携強化、情報提供

機関誌「フォレストコンサル」を年4回発行し、会員相互の情報交換

(4) 技術士試験及び技術士制度のPR

技術士試験受験希望者に対し相談、助言を行い、森林部門技術士の養成確保

(5) 技術士継続教育（CPD）の普及指導

CPD部会を設置し、CPDの啓蒙普及の強化

(6) 技術士（森林部門）の活用促進

林野庁、都道府県林務担当部局に森林部門技術士の幅広い活用の要請活動

3 会員の概要

現在の会員は、正会員531名、準会員10名 合計541名です。（正会員の内訳は、林業107名、森林土木358名、林産38名、森林環境28名です。（平成30年3月31日現在）